

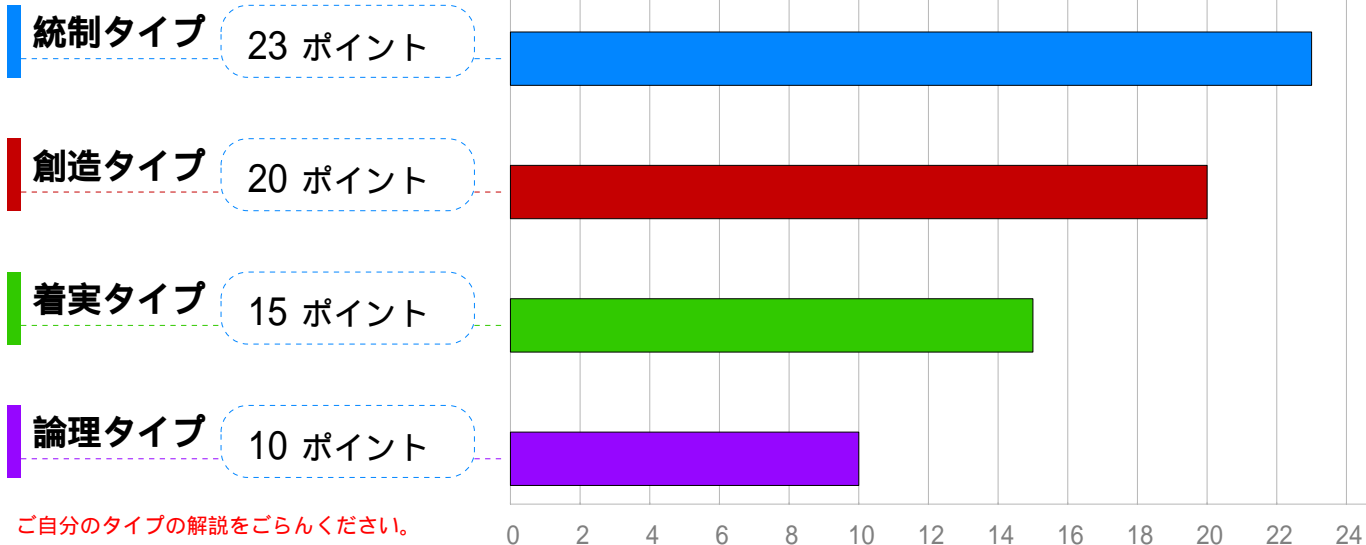
行動スタイルタイプ分け診断

人間関係づくりに成功するためには、まず自分自身の行動スタイルを把握することです。それから、それぞれのタイプの特徴を理解し、相手のタイプに合った行動戦略を立てる事が大切です。

診断太郎 様

第一章	～ 診断結果 ～	1 ページ
第二章	～ 各タイプの説明 ～	
	■ 統制タイプについて	2 ページ
	■ 創造タイプについて	3 ページ
	■ 着実タイプについて	4 ページ
	■ 論理タイプについて	5 ページ
第三章	～ 行動スタイルの各タイプを より理解するために ～	6 ~ 11 ページ

あなたの診断結果は以下のとおりです。



■タイプ別の行動スタイル (全体)

<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> [1] 競争心が人よりも強い [2] 場や人をしきることが多い <p>好き</p> <ul style="list-style-type: none"> 競争に勝つ、スピーディーに物事を進める <p>統制タイプ</p>	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> [1] 直感的に物事をとらえる [2] 社会的で交際範囲が広い <p>好き</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しいもの、好奇心が刺激されるようなもの <p>創造タイプ</p>
<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> [1] 論理的に物事をとらえる [2] 一人の時間を持ちたがる <p>好き</p> <ul style="list-style-type: none"> 根拠のある話、確立したルールや方法論 <p>論理タイプ</p>	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> [1] 協調性・思いやりがある [2] 温和でおだやか <p>好き</p> <ul style="list-style-type: none"> 他人と協力しあう、慣習・慣例に従って行動する <p>着実タイプ</p>

『行動スタイルタイプ分け診断』ご利用にあたって

行動スタイルタイプ分け診断を有意義にご活用いただくために、以下の3点にご留意ください。

- 自己理解やコーチングを行う際に、補助的な役割を担うものです。**
本診断は、各人が特徴的に持つ行動のスタイルを分類するものですが、受検した個人の興味、性格及び資質の全てを表しているものではありません。特に結果を受検者に説明する際には、十分に時間を取ってフィードバックを行うようにしてください。
- 4つの行動タイプそれぞれに、強みと弱みがあります。**
本診断が表す4つの行動タイプには、それぞれ強み、弱みがあり、対人関係における様々な局面により変化します。強みとなる部分はより高め、弱みとなる部分は今後の課題として認識し、少しでも克服していきましょう。
- 組織中での役割や能力をはかるものではありません。**
本診断は、組織の中での役割や能力を判定するものではありませんので、結果で組織上の役割に対する向き、不向きを判断することは避けてください。